

平成15年第1回内分泌攪乱化学物質問題検討会議事要旨

- I 日時：平成14年6月12日（木） 14:00～16:00
- II 場所：中央合同庁舎5号館22階 環境省第1会議室
- III 出席者（敬称略）
委員：有菌幸司、井口泰泉、井上達、岩本晃明、内山実、奥野泰由、清水誠、鈴木継美（座長）、住吉好雄、田辺信介、坪田敏男、中村正久、花岡知之、村田幸雄、森田昌敏、安野正之、若林明子和田勝、
事務局：環境保健部長、企画課長、環境安全課長、環境リスク評価室長他

IV 議題

- (1) 平成13年度優先物質の有害性評価結果について
- (2) その他

V 議事要旨

- (1) 優先物質の有害性評価結果について
平成12年度に選定した優先8物質のうち3物質について「哺乳類を用いた人健康への内分泌攪乱作用に関する試験結果」を、また5物質について「魚類を用いた生態系への内分泌攪乱作用に関する試験結果」の追加試験結果を事務局から報告し、議論が行われた。また、平成13年度に選定した優先物質のうち7物質について、「哺乳類を用いた人健康への内分泌攪乱作用に関する試験結果」を、また8物質について「魚類を用いた生態系への内分泌攪乱作用に関する試験結果」を事務局から説明し、議論が行われた。
- (2) その他
「環境ホルモン戦略計画 SPEED'98」の改訂作業を本年度から2年計画で実施することについて了承された。また「第6回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」の開催について事務局より報告した。

以上